



Vol.9 ～～2010.6

ご無沙汰しておりました！！長い間隔を空けて、渡鳥通信の再スタートです。22年度のメルマガは54期の田村と井田のコンビが担当致します。拙筆、なにとぞご容赦ください☆★

青葉時雨のみぎり、皆さまいかがお過ごしでしょうか。長袖姿ではもはや、汗が色濃く服の背ににじむほどの蒸し暑い季節が到来しています。新学期が始まり、新二回生の多くが吹田キャンパスに通うようになり、束の間の閑静さを保っていた我が部の部室でありましたが、55期となる一回生が男14名、女1名の計15名も入部してくれたお陰で室内の人口密度も急速に増して、ふたたびそこは蒸し暑い空間と化しつつあります。

今回のメルマガでは、四月、五月に行われた、ワンダーフォーゲル部恒例行事の春PWと新歓合宿の様様を中心に部の活動をお伝えしてゆきます。

== Index =====

- 春PW
- 新歓合宿の感想
- 部員紹介

=====

2010/4/17 春PW
～爽快・春の中山ハイキング～

4/17に春PWとして、宝塚市の中山にハイキングに行きました。石橋駅に集合し、阪急電鉄に乗り、中山駅まで五駅。夏隣る気持ちのよい日でしたので、駅の前では一般客の姿も、結構大勢見かけました。当日参加してくれた新入生は六名と、例年と比較して若干少なめでしたが、その分落ち着いた雰囲気で行楽を楽しむことができました。



頂上での昼食では、バーベキューに興ずる登山客を尻目に、上回生がおのおの用意してきた手作りおかずを披露。たこさんウィナー、サンドウィッチ、おむすびなどといった定番メニューから始まり、フランクフルト・ソーセージ、ベビーカステラ、果ては天むすまで。まさに、群雄割拠状態！普段の合宿ではついぞ見たことのない彼らの腕前が、遺憾なく発揮されていました。ある先輩に至っては、その場で急いでサンドウィッチを作っていたほど。



ランチの後はゆっくり下山して、「中山さん」の名で親しまれている中山寺に立ち寄りしました。水音の心地よい境内を散策したり、おみくじを引いたりして、皆まったりと昼下がりの時間を過ごしていました。なかには、安産祈願をする者もいたとかいかなかったとか。

一回生の新歓目的の行事でしたが、上回生も久しぶりの部全体の外出に満足していたようで、双方にとって有意義な一日になりました。
(文責：井田)

2010/5/15-16 新歓合宿
～見て、瀬戸内海が！いやあれは琵琶湖～

5/15、16の土日に、例年どおり比良山系での一泊二日の合宿が催されました。当日は僥倖に巡り会い、快晴の空のもと武奈ヶ岳の頂から、青い琵琶湖を一望できるほどの天気好き。毎年新歓合宿において「土砂降り」という名の憂き目を見てきた上回生たちも嬉しかったのではないのでしょうか。今回の合宿には13名の一回生が参加してくれたおかげで、一日目の夕方に辿り着いた暮雪山荘の小屋内はまさに鮎詰



め状態でした。夕食後は、自己紹介、誕生祝いなどなど、学年を超えた交流が盛んにおこなわれて、一回生と上回生の仲もより深まったことでしょう。

新入生のなかには、この合宿が初めての登山となった者もいたと思いますが、誰しも山行中に弱音を吐くことなく、元気な表情をしてくれていて、途中で怪我をすることもなく無事に合宿を終了することができました。

それでは、今回参加してくれた1回生に、合宿の感想を聞いてみましょう。

～ 1パーティ ～

初めての山はすごく楽しかったです。新歓合宿は雨が降る、と言われていたにもかかわらず、見事な晴天で武奈ヶ岳からのきれいな景色を見ることができて嬉しかったです。山や暮雪山荘での先輩たちの働きを見て、早くいろんな知識を身につけたいと思いました。

(法 55期 野田 英明)

景色がよかったのはもちろんですが、登山中、多くのお年寄りの方に出会ったのが印象的でした。とても元気で、生き生きとした顔をしておられました。自分は登山を始めたばかりですが、やはり彼らのように生涯スポーツとして続けていきたいと思いました。

(法 55期 伊藤 俊輝)

～ 2パーティ ～

初めての合宿でしたが天気にも恵まれ自然を満喫することができました。武奈ヶ岳から見た琵琶湖は心に残るものがあり今回の合宿を通して登山の魅力を味わえたように思います。これからは様々な山に挑戦したいと思いました。

(工 55期 矢達 高大)



登りはじめの山道がかなり急で、しんどかったですが、山頂が近づいて木々の背が低くなり周りが明るくなってくると、とても爽快な気分になりました。いい運動になりました。どんどん山を歩いて、痩せたいです！

(工 55期 角野 惇)

～ 3パーティ ～

今回初めての合宿で体力がもつか不安でしたが、先輩方がザックの背負い方等丁寧に教えてくださったので楽しく登山できました。武奈ヶ岳からの景色は最高で、本当に行ってよかったと思います。

(基礎工 55期 大江 康子)

今回の合宿は天気もよく山登りを楽しむことができました。初めてザックを背負って登ったので少ししんどい時もありましたが、山頂から見た琵琶湖はとてきれいで、これからの山登りが楽しみになりました。

(基礎工 55期 北野 翔大)

初めての山登りは、新鮮でいい思い出となりました。山は思っていたよりも険しく、一步踏み違えたと下に落ちて行って死んでしまいそうな危険な道だらけの山道でした。まるで、冒険しているような気持ちになり、楽しく登る事ができました。

(基礎工 55期 五十嵐 尋)

天気よし、見晴らしよし、とても快適な登山でした。特に武奈ヶ岳から琵琶湖が一望できたのがよかったです。高校でも山岳部で登山をしていましたが、大人数で活動するのは今回が初めてでした。にぎやかで楽しかったです。

(基礎工 55期 瀧澤 洸)

《そのほかの1回生》

法 55期 上村 優貴

理 55期 市川 智輝

理 55期 笹原 貴志

工 55期 山田 将人

基礎工 55期 武内 基彦

基礎工 55期 多田 昌洋

部員紹介 ～☆53期リーダーズ☆～

54期メルマガ委員は2名存在するのですが、適材適所だねということで、文学部の井田クンが一貫して文章の執筆を担当してくれています。今まで読んで頂いた方々の中には、彼の文章に、少し常ならぬものを感じとられた方もおられるのではないのでしょうか？香り立つ何か・・・。独特の語調、あふれる豊かな語彙。彼の筆で、53期リーダーの主なる3名の紹介文をどうぞ。

●藤村治輝（主将）

ワゲルを常ならず深く愛するあまり、その反動で一時期は自らの単位取得すら危うくしておられた我らが主将。部でも数少ない花の文系男子ですが、当の本人は理系っぽいんですねと言われることを望んでいるようです。なにゆえ？「禁酒禁煙」という崇高な四文字のマニフェストを標榜して、飲み会では常に自省を繰り返しつつ、普段は僕たち部員の自由奔放さを、その深い懐とふくよかな体で温かく包んでくれています。彼を愛していない部員など、いない(はず)！今年度の抱負は本人曰く、『結束』。夏に向けて、総勢35名弱の部員の一致団結を目指します。



●天野裕基（副将）

自己紹介において、きたる W 杯予選日程を枚挙し、部員全員にリアルタイムの応援を義務付けて第一部会を騒然とさせた、サッカー大好きな天野さん。副キャプテンを務めておられます。(皮肉抜きで)53期のリーダーズのなかで、恐らく最も「若々しさ」を感じさせる方であろうと存じます。山においても下界においても笑顔が絶えないところは、個人的に見習いたいですね☆。2010年度の抱負は『責任』。おのおのがた！吹田キャンパスの昼トレの先鋒は、決して誰にも譲りませんからね！！部員たちの先頭に立って、今年一年を駆け抜けます。



●諏澤和葉（主務）

53期の紅一点と言え、この方。すざわさん、もしくは、かずはさん。「クールビューティー」と称えられるほどの、何事にも動じぬ冷静沈着さの持ち主である彼女の手にかかれば、どんな面倒厄介な授業だってお茶の子さいさい。主将とは同郷出身だとかなんとか。多忙な学校生活の合間を縫って、部全体の細かな管理や対応を尽くしてくださっています。本当に感謝していますよ。今年度は『完徹』・・・ではなく『貫徹』を合言葉に、大きな志のもとに、マッチェンは勿論、部全体をベストな方向に引っ張ってゆかれるでしょう。



=====

以上、リニューアルした渡鳥通信をお送りしましたが、いかがだったでしょうか。次回は、1次・2次予備合宿についてお伝えする予定です。これから、山ばかりの練成が始まりますが、楽しんでやっていきたいと思っておりますので、今後とも渡鳥通信をよろしく願いいたします。

最後に、アンケートのお願いがあります。皆さんが現役、もしくは引退されてから、好評だった山での料理にはどんなものがありますか？返信は下記のアンケートページまでお願いします。
ご協力お願いします。

● アンケートページ

<http://ouwv.org/enquete/enqform.html>

54期メルマガ委員：井田俊太
田村真佐美
瀧沢友啓